

令和4年度 政務活動費支出整理簿

(会派名 日本共産党西東京市議団)

経費項目	視察研修費		
整理番号	月 日	支 出 額 (円)	支 出 内 容
1	2月7日	25,000	多摩自治体研究所 第48回「議員の学校」参加費 大竹市議
2	2月10日	25,000	多摩自治体研究所 第48回「議員の学校」参加費 中村市議
3	2月14日	25,000	多摩自治体研究所 第48回「議員の学校」参加費 やまき市議
小 計		75,000	備 考
合 計		75,000	

領収書添付用紙

経費項目 *該当費目に○をつけてください。

整理番号 1

調査研究費	○	【内容説明欄】 多摩自治研究所 第48回「議員の学校」参加費 大竹市議
視察研修費		
広報費		
広聴費		
資料作成費		
資料購入費		
事務費		
【領収書等添付欄】 別紙のとおり		
【留意事項】 1. この用紙は、該当経費の項目に○をつけて経費項目毎に領収書を貼付けていただくものです。ホームページ等で情報公開を行う関係から、領収書は重ねて貼付けしないようにしてください。 2. この【留意事項】を覆うように領収書を貼付けても結構です。		

送付状

〒191-0016

東京都日野市神明 3-10-5 エスプリ日野 103

TEL 042-586-7651 FAX 042-514-8096

NPO 法人 多摩住民自治研究所

大竹 あつ子 様

拝啓

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のお引き立てを賜り、誠にありがとうございます。

さて、48 回「議員の学校」参加費領収証をご送付いたしますので、ご査収の上よろしくお取り計らいの程お願い申し上げます。

下記、破線で切り取り、領収証としてご使用ください。

敬具

領 収 証

No.20230215・1031

2023 年 2 月 24 日

日本共産党西東京市議団 大竹あつ子 様

¥ 25,000 —

但し 第 48 回「議員の学校」参加費として
2023 年 2 月 7 日 上記正に領収いたしました

NPO 法人 多摩住民自治研究所

〒191-0016 東京都日野市神明 3-10-5 エスプリ日野 103

TEL 042-586-7651 FAX 042-514-8096

領収書添付用紙

経費項目 * 該当費目に○をつけてください。

整理番号 2

調査研究費	○	【内容説明欄】 多摩自治研究所 第48回「議員の学校」参加費 中村市議
視察研修費		
広報費		
広聴費		
資料作成費		
資料購入費		
事務費		
【領収書等添付欄】 別紙のとおり		
【留意事項】 1. この用紙は、該当経費の項目に○をつけて経費項目毎に領収書を貼付けていただくものです。ホームページ等で情報公開を行う関係から、領収書は重ねて貼付けしないようにしてください。 2. この【留意事項】を覆うように領収書を貼付けても結構です。		

送付状

〒191-0016

東京都日野市神明 3-10-5 エスプリ日野 103

TEL 042-586-7651 FAX 042-514-8096

NPO 法人 多摩住民自治研究所

中村 すぐる 様

拝啓

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のお引き立てを賜り、誠にありがとうございます。

さて、48 回「議員の学校」参加費領収証をご送付いたしますので、ご査収の上よろしくお取り計らいの程お願い申し上げます。

下記、破線で切り取り、領収証としてご使用ください。

敬具

領 収 証

No.20230215・1062

2023 年 2 月 24 日

日本共産党西東京市議団 中村すぐる 様

¥25,000-

但し 第 48 回「議員の学校」参加費として
2023 年 2 月 10 日 上記正に領収いたしました

NPO 法人 多摩住民自治研究所

〒191-0016 東京都日野市神明 3-10-5 エスプリ日野 103
TEL 042-586-7651 FAX 042-514-8096

領収書添付用紙

経費項目 *該当費目に○をつけてください。

整理番号 3

調査研究費	○	【内容説明欄】 多摩自治研究所 第48回「議員の学校」参加費 やまき市議
視察研修費		
広報費		
広聴費		
資料作成費		
資料購入費		
事務費		
【領収書等添付欄】 別紙のとおり		
【留意事項】 1. この用紙は、該当経費の項目に○をつけて経費項目毎に領収書を貼付けていただくものです。ホームページ等で情報公開を行う関係から、領収書は重ねて貼付けしないようにしてください。 2. この【留意事項】を覆うように領収書を貼付けても結構です。		

送付状

〒191-0016

東京都日野市神明 3-10-5 エスプリ日野 103

TEL 042-586-7651 FAX 042-514-8096

NPO 法人 多摩住民自治研究所

やまき 明美 様

拝啓

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のお引き立てを賜り、誠にありがとうございます。

さて、48 回「議員の学校」参加費領収証をご送付いたしますので、ご査収の上よろしくお取り計らいの程お願い申し上げます。

下記、破線で切り取り、領収証としてご使用ください。

敬具

領 収 証

No.20230215-1044

2023 年 2 月 24 日

やまき 明美 様

¥25,000—

但し 第 48 回「議員の学校」参加費として

2023 年 2 月 14 日 上記正に領収いたしました

NPO 法人 多摩住民自治研究所

〒191-0016 東京都日野市神明 3-10-5 エスプリ日野 103

TEL 042-586-7651 FAX 042-514-8096

第 1031 号



第 48 回
多摩研・議員の学校修了証

大竹 あつ子 様

あなたは当研究所が主催した第 48 回
議員の学校の課程を修了されました。
地方自治の発展のために さらに尽力
されますよう期待いたします。

2023 年 2 月 16 日

NPO 法人多摩住民自治研究所
理事長 荒井文昭

第 1062 号



第 48 回
多摩研・議員の学校修了証

中村 すぐる 様

あなたは当研究所が主催した第 48 回
議員の学校の課程を修了されました。
地方自治の発展のために さらに尽力
されますよう期待いたします。

2023 年 2 月 16 日

NPO 法人多摩住民自治研究所
理事長 荒井文昭

第 1044 号



第 48 回
多摩研・議員の学校修了証

やまき 明美 様

あなたは当研究所が主催した第 48 回
議員の学校の課程を修了されました。
地方自治の発展のために さらに尽力
されますよう期待いたします。

2023 年 2 月 16 日

NPO 法人多摩住民自治研究所
理事長 荒井文昭



第48回

議員の学校

●主催 NPO法人多摩住民自治研究所
オンライン 会場定員6人(先着順)
「見逃し配信あり」(2023年4月末まで)

2023
2/15(水)
/16(木)

よくわかる自治体財政の
基本から応用まで

2023年度国家予算の傾向と
自治体予算審査の肝

●会場:日野・市民自治研究所

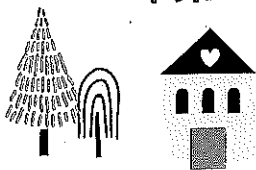
(ゆのした交流センター内、JR中央線・日野駅より徒歩3分)

http://hino-shiminjichi.jp/xoops/modules/pico/index.php?content_id=6

コロナ禍が続く中、かつてない補正予算と税収増によって膨らむ予算規模と基金残高。一方で厳しさを増す住民生活。一人ひとりの暮らしによりそうために、今こそ学びたい“よくわかる”“そうだったのか”の自治体財政。

- 1 “よくわかる” 森裕之教授の
国と地方財政の「基本」と実際の「新年度予算」
これからの地方財政のあり方
- 2 “そうだったのか” 長年の議員経験者の
「予算審査の要点」などの報告
- 3 “そうだったのか・よくわかる” 池上洋通学校長の
地方自治原則を踏まえた「自治体の政策活動」

「第48回議員の学校」にご期待ください。



「議員の学校」とは 多摩住民自治研究所[多摩研]の「議員の学校」は、「住民と地域に役立つ地方議員になりたい」という議員の皆さんの声にこたえ、「政党会派を問わずに、だれもが参加できる学校」として始められました。平成21(2009)年のことです。幸いにして、各地の議員の皆さんの積極的なご参加と、協賛された各分野の講師の方々のすぐれた講話によって、かけがえのない歩みを重ねてまいりました。

■集中講義1・2 森 裕之氏(立命館大学教授)

◆講義1 80分(講義60分+質疑応答20分)

「自治体財政の基本を知ろう!」

自治体財政を理解するための要諦は「基本」です。この基本さえ身につけてしまえば、複雑そうに見える自治体財政の内容がスムーズに頭に入ってきます。毎年度の予算や決算に出てくる様々な財政の項目や名称も、すべてそれらの基本の具体的な表現に過ぎないからです。本講義では、この何よりも重要な自治体財政の基本を一から学びます。財政の知識を確固としたものにするには反復が大切ですので、リピーターの方もぜひ受講していただければと思います。

◆講義2 150分(講義100分+質疑応答20分)

「2023年度予算審査のポイントと自治体財政の課題」

自治体財政の基本的知識をふまえて、2023年度の自治体の予算がどうなるのかについて解説します。国の予算と同時に示される地方財政計画を詳しくみることで、来年度の自治体の重点政策はどこが焦点となるのか、また、それに対して各自治体はどのように対応すべきなのかについて考えていきます。その背後にある国の動きについてもみていくことにします。

日々の議員活動の中で知りたいと感じておられる財政の疑問等についても積極的に受け付けますので、ぜひ楽しみにしていただければと思います。

■実践報告と提言 110分(講義90分+質疑応答20分) 目黒重夫氏(元府中市議会議員)

「体験を通しての予算審査の要点と財政分析活動について」

もっとも時間と労力が求められる予算審査。予算議会に臨むにあたって準備や着目点などについて経験をお話しします。また基礎となる財政分析活動について紹介します。

■シリーズ講義(6) 憲法と地方自治 100分(講義のみ)

池上洋通氏(「議員の学校」学校長、多摩住民自治研究所理事)

「地域経済・住民生活の困難と政策活動の展開」

—— 原則が問われている自治体政策と財政打開への道

全国各地の自治体で「生活保護世帯」と「生活困難世帯」が急増し、小規模事業者が次々に廃業に追い込まれています。この流れが始まったのは2000年代の初めごろからで、コロナ禍がそれに追い打ちをかけました。まさにいま、地方自治体の出番です。

■グループワーク 5～6人の少人数(グループ)に分かれ、初日の集中講義と実践報告の学びを振り返りながら、各自の課題などを交流します。議員の仕事の意義をより深められる自己紹介・表現の時間です。

■まとめ・全体にわたる質疑応答 ご自分の自治体について、個別的なご質問にもお答えする形で進めていきます。それぞれのまちの課題等を、ぜひ、お持ち寄りください。



■ 集中講義1・2 森 裕之(もり ひろゆき)氏

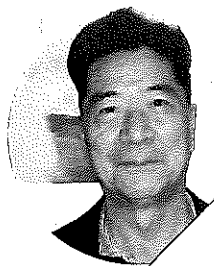


1967年生まれ。地方財政、公共政策の理論活動の第一線に立つ研究者で、「市町村や都道府県の財政が住民生活や企業活動にどのような影響を及ぼすか」を実際に検証し、注目をあびてきました。著書や論文、幅広い講演活動によって、地方財政改革、公共事業、公共政策について積極的な発言をしています。

■ 著書

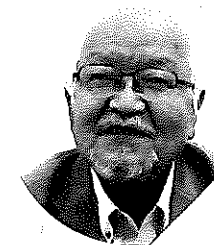
『自治体財政を診断する——「財政状況資料集」の使い方(仮題)』(2022 自治体研究社)、『市民と議員のための自治体財政——これでわかる基本と勘所』(2020 自治体研究社)、『初歩から分かる総合区・特別区・合区』(共著 2017 自治体研究社)、『公共施設の再編を問う』(2016 自治体研究社)、『大都市自治を問う』(共著 2015 学芸出版社)、『地域共創と政策科学』(共著 2011 晃洋書房)、『検証・地域主権改革と地方財政』(共著 2011 自治体研究社)ほか多数。

■ 実践報告と提言 目黒重夫(めぐろ しげお)氏



1948年福島県生まれ。コンピューターサービス会社勤務を経て、1991年府中市議当選、以降7期務め20年府中市長選に立候補。現在、多摩住民自治研究所理事。

■ シリーズ講義(6) 池上洋通(いけがみ ひろみち)氏



1941年静岡県生まれ。講師は自治体職員、研究機関常勤役員、千葉大学教育学部非常勤講師(社会教育原論)などの経験を持つ地方自治理論・政策の実践的研究者。著書・論文は地方自治体論をはじめとして、保健医療、社会福祉、教育、防災など、自治体政策の全分野にわたります。

■ 著書

『人間の顔をしたまちをどうつくるか』(自治体研究社)、『生きたかった——相模原障害者施設殺傷事件が問いかけるもの』(共著 大月書店)、『「学び」を止めない自治体の教育行政』(共著 自治体研究社)ほか多数。

◆ 第1日 2月15日(水)

- 10:30 ~ 10:40 開会のあいさつ、ガイダンス
- 10:40 ~ 12:00 集中講義1(講義60分、質疑応答20分)
- 12:00 ~ 13:00 お昼休み(60分)
- 13:00 ~ 15:00 集中講義2(講義100分、質疑応答20分)
- 15:00 ~ 15:10 休憩(10分)
- 15:10 ~ 17:00 実践報告と提言(講義90分、質疑応答20分)
- 17:00 ~ 17:10 連絡事項、写真撮影

◆ 第2日 2月16日(木)

- 9:55 ~ 10:00 ガイダンス
- 10:00 ~ 11:40 シリーズ講義(6)(講義100分)
- 11:40 ~ 12:40 お昼休み(60分)
- 12:40 ~ 12:55 グループワーク準備(15分)
- 12:55 ~ 14:35 グループワーク(100分)(前半40分/後半40分/発表20分)
- 14:35 ~ 14:45 休憩(10分)
- 14:45 ~ 15:45 まとめ・全体にわたる質疑応答(60分)
- 15:45 ~ 16:00 閉会のあいさつ等(15分)



プログラム



議員の学校

申込み方法 【会場・オンライン同一価格】



●部分参加(1講義あたり)

- ・都道府県・政令市・特別区議会議員13,000円
- ・上記以外9,000円

●全参加(3講義)

- ・都道府県・政令市・特別区議会議員37,000円
- ・市議会議員25,000円
- ・町村議会議員15,000円
- ・多摩住民自治研究所会員(議員)22,000円
- ・市民1講座:1,000円 全参加:3,000円

下記の申込書をFAX [042-514-8096] または、
e-mail [tamajitiken1972@space.ocn.ne.jp] でお送りください
多摩研ホームページの「申込フォーム」



▶ [http://www.tamaken.org/?page_id=2156] からもお申込みいただけます。

*複数名でお申込みの場合でも、全員分の下記項目を必ず明記の上、お申し込みください。

・お名前 ・e-mailアドレス ・ご住所 ・携帯番号(電話番号)

FAXまたはメールで受講申込みを受け付け次第、受講案内、宿泊施設案内等をお送りします。

◆お問合せ TEL 042-586-7651

議員の学校 参加申込書

*全項目にご記入をお願いします

■ 氏名(ふりがな)

■ 領収書の宛名(政務活動費をお使いの方は正確にご記入ください)

■ 住所 〒

■ 電話

■ FAX

■ 携帯電話

■ 今後の多摩研の催しのご案内

☐ e-mail ☐ FAX ☐ 郵送 ☐ 希望しない

*添付ファイルを受信できるPC等のアドレスをご記入ください

■ e-mail

■ お申込み内容(必ずいずれかに✓をお願いします)

●お立場

- ☐ 都道府県・政令市・特別区議会議員
- ☐ 市議会議員
- ☐ 町村議会議員
- ☐ 多摩住民自治研究所会員(議員)
- ☐ 多摩住民自治研究所会員(議員以外)・市民

●ご参加 ☐ 会場 ☐ オンライン

- ☐ 全参加
- ☐ 集中講義に参加
- ☐ 実践報告に参加
- ☐ シリーズ講義(6)に参加

●グループワークへのご参加

- ☐ する ☐ しない